

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	愛知美容専門学校
設置者名	学校法人前田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	美容科	夜・通信	54	6	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務局にて管理し希望者には、閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知美容専門学校
設置者名	学校法人前田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務局にて管理し希望者には閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	M's コネクション主宰	令和2年4月～令和4年3月	業界とのネットワーク 愛美校友会顧問
非常勤	愛美校友会前副会長	令和2年4月～令和4年3月	業界とのネットワーク、 学校経営アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知美容専門学校
設置者名	学校法人前田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>担当教師、講師が授業の方法(講義、演習、実習)、授業計画、年間の計画、成績評価の方法を記載した授業計画(シラバス)を1月までに作成する。</p> <p>各学年担当教師が目を通し、特に2年生においては、国家試験対策を意識してさらに国家試験対策を考える。</p>	
授業計画書の公表方法	事務所に備え付け希望者は、閲覧することができる。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学年、定期試験を行う。学科は、期末試験、実技は、中間と期末に試験を行う。学科試験については、100点満点のうち60点以上を合格とし、不合格者については、後日、追試験を行う。また、追試験で不合格だった生徒については、課題提出を課し各担任がチェックを行い修了とする。実技試験については、各学年教師が到達点を決め、習得度を測る。</p> <p>実技については、習得度の低い学生に対して、別日に追試験を行い、それでも合格点に達しない場合は、補習を行い習得してもらう。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修科目の成績評価を点数化し、(100点満点)60点以下を不合格とする。 成績分布を示す指標</p> <p>(成績分布を示す指標の数値) ～40点・・・1 40～60点・・・2 60～70点・・・3 70点～80点以上・・・4 80点以上・・・5</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>事務所に備え付け希望者は、閲覧することができる。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各教科科目の単位認定に必要な出席率をクリアーし、それに満たない場合は、補習等に参加する。定められた補習等に参加しない者は、その単位を認めない。 各学年で定期試験を行い、100点換算で60点以上を合格とし、修了認定する。ただし、実習をとまなう教科科目については、実習の成績によって修了を認定することが出来る。 卒業に必要な単位が修得できないと判断された学生に対して、学校長は、認定会議を設け職員会議にかけて決定していく。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>事務所に備え付希望者は、閲覧することができる。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛知美容専門学校
設置者名	学校法人前田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務局にて管理し希望者には、閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	事務局にて管理し希望者には、閲覧可能
財産目録	事務局にて管理し希望者には、閲覧可能
事業報告書	事務局にて管理し希望者には、閲覧可能
監事による監査報告（書）	事務局にて管理し希望者には、閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010/67 単位時間/単位	540 単位 時間 18/ 単位	60 単位時 間 2/単位	1410 単位 時間/47 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010 単位時間/67 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		176 人	0 人	8 人	10 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）担当教師、講師が授業の方法（講義、演習、実習）、授業計画、年間の計画、成績評価の方法を記載した授業計画（シラバス）を1月までに作成する。各学年担当教師が目を通し、特に2年生においては国家試験対策を意識してさらに国家試験対策を考える。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年、定期試験を行う。学科は、期末試験。実技は、中間と期末試験を行う。学科試験については、100点満点のうち60点以上を合格とし、不合格者については、後日、追試験を行う。また、追試験で不合格だった生徒については、課題提出を課し各担任がチェックを行い修了とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）各教科科目の単位認定に必要な出席率をクリアし、それに満たない場合は、補習等に参加する。定められた補習等に参加しない者は、その単位を認めない。各学年で定期試験を行い、100点換算で60点以上を合格とし、修了認定する。ただし、実習を伴う教科科目については、実習の成績によって修了を認定することが出来る。卒業に必要な単位が修得できないと判断された学生に対して、学校長は、認定会議を設け職員会議にかけて決定していく。

学修支援等
(概要) 追試験、補習の実施など学習支援 学習状況に関するカウンセリング

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
66人 (85.7%)	0人 (0 %)	66人 (100%)	0人 (0 %)
(主な就職、業界等) 美容室、ネイルサロン			
(就職指導内容) 就職ガイダンスの開催 個別面談 インターシップ体験			
(主な学修成果(資格・検定等)) ネイル検定、カラーリスト検定、色彩検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
平成 31 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
150 人	5 人	3.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談による指導、相談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	100,000 円	720,000 円	520,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.aibi.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者委員会により教育方針、教育理念、学校運営、財務の安定、学生支援、法令順守、学生募集等について学校自己点検評価及び学生アンケートの結果を踏まえた学校評価を行い評価内容を公開する。専門分野の業界関係者、高等学校の進路指導担当者、本校卒業者などから選出された最低4名の評価委員でもって構成する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(株) ミラートーク	令和2年4月～令和4年3月	企業
CUT IN	令和2年4月～令和4年3月	企業
TBS	令和2年4月～令和4年3月	企業
TABOO	令和2年4月～令和4年3月	企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.aibi.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.aibi.ac.jp
--

